

徳島県西部地域政策総合会議計画推進評価部会における 「徳島県西部圏域振興計画（第4期）」の評価について

1. 基本的な考え方

- ①評価手順を「ABC判定」と「委員評価」に分離し、議論を整理
 - ・数値目標達成率（％）による「事業」ごとの客観的、機械的な「ABC判定」
 - ・改善見直しにつながる委員の提言を踏まえた「施策」ごとの「委員評価」
- ②計画推進評価部会において「現地視察」を踏まえた「現場主義型」の意見・提言の充実

2. 評価単位

- ①評価単位
「徳島県西部圏域振興計画(第4期)」の「第5章 行動計画（圏域振興の視点と取組み）」において、「重点項目」の下位にある「中項目」を評価単位とする。

徳島県西部圏域振興計画 第5章 行動計画（圏域振興の視点と取組み）
重点項目（5）→中項目（15）→施策（105）と●数値目標（137）

- ②評価項目
「令和元年度の成果及び取組」とする。

3. 「徳島県西部圏域振興計画（第4期）」評価シートの記載内容

次の①から⑥までの項目は「施策」又は「数値目標」ごと、⑦は「中項目」ごとに記載している。

- ①施策・数値目標
振興計画に定めた施策と数値目標。
- ②工程
計画期間中の各年度における目標の工程。
- ③実績値（R元年度）
R元年度末の実績値。
- ④数値目標ごとの達成率
次の数式により達成率（％）を算出し、記載している。
数値目標の達成率（％）

$$= \text{R元実績値} \div \text{R元目標値} \times 100$$

※小数点以下は切り捨て（例：算出値が79.99・・・％の場合、79％）
※R元年度の実績値が未判明、目標値の設定がない場合は、「－」を記載

（例）
評価シート1ページ目の施策番号2における「外国人延べ宿泊客数（暦年）」の場合
数値目標の達成度 $= 31,828人 \div 30,000人 \times 100$
 $= 106\% \rightarrow 100\%$

⑤判定（自動計算）

施策ごとの「判定」区分		
A	B	C
施策ごとの 数値目標の達成率 の単純平均 90%以上	施策ごとの 数値目標の達成率 の単純平均 80%以上	施策ごとの 数値目標の達成率 の単純平均 80%未満

※判定は数値に基づき機械的に実施

※委員協議による判定変更はなし

⑥具体的な取組の内容等

○共通記載事項

- ・具体的な取組の内容
- ・成果（施策の実現状況）

○数値目標に未達がない場合

- ・今後の取組方針

○数値目標に未達がある場合

- ・数値目標未達の要因及び課題
- ・課題の解決に向けた対応

○令和元年度から令和2年度に向けての改善見直しがある場合

- ・R元→R2改善見直し内容

⑦評価案（「中項目」ごとに記載）

中項目を構成するすべての数値目標の「数値目標の達成率」から、平均値を算出し、達成率に応じて（順調、要注視、要改善）の中から選択。

中項目ごとの「評価」区分		
順調	要注視	要改善
中項目ごとの 数値目標の達成率 の単純平均 90%以上	中項目ごとの 数値目標の達成率 の単純平均 80%以上	中項目ごとの 数値目標の達成率 の単純平均 80%未満

（例）

重点項目1・中項目3の「地域を挙げた『おもてなし』態勢づくり」の場合

- ・中項目内の数値目標の達成率：100% 5項目・95% 1項目・94% 1項目

中項目ごとの数値目標の達成率

$$= (100\% \times 5 + 95\% \times 1 + 94\% \times 1) \div 7 = 98\% \rightarrow \text{順調}$$

4. 評価部会での評価の決定

評価シートに記載された内容を基礎に、会議当日の質疑応答も踏まえて委員が協議し評価する。

5. 評価部会の進め方

○現地視察

○中項目ごとに事務局から令和元年度の取組状況を説明

○中項目単位で評価